

暮らしを豊かに、夢ワイドな

うごしんきんの

個人ローン

カードローン
マイカーローン
教育ローン
住宅ローン
リフォームローン



年金のお受取りは、

うごしんきん

での自動受取りが
便利で確実です。



インターネット バンキングサービス

簡単・便利・確実
だから安心やってみよう！



- ▶ご自宅のパソコンやポケットの中の携帯電話がATMがわりに。
- ▶デビットカードご利用時の残高照会に。
- ▶振込や振替に。
- ▶ネットで定期預金がつくれます。
- ▶入出金明細をご利用の家計簿ソフトや経理ソフトに取込みできます。



外出先からでも
携帯電話で！



ご自宅からでも
パソコンで！



地域と共に、あなたと共に。

羽後信用金庫

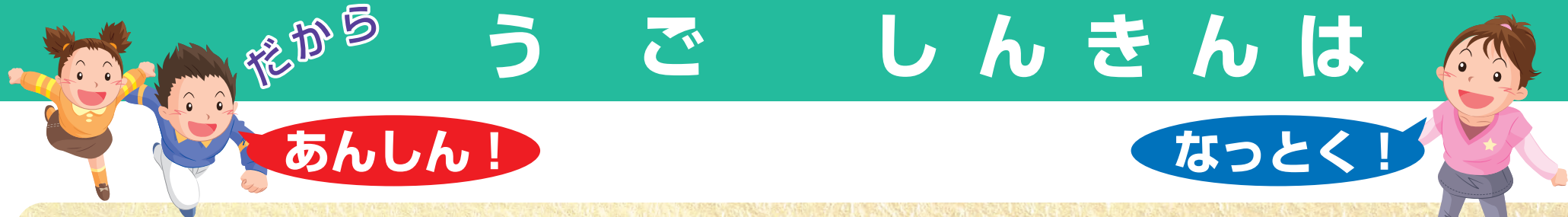
本部 / 秋田県由利本荘市本荘24番地 TEL0184-23-3000 (代表)
URL: <http://www.ugoshinkin.jp/>

2024 Mini Disclosure

羽後信用金庫の現況



羽後信用金庫



だから

あんしん!

なっとく!

自己資本比率は どれくらい?

令和6年3月末現在の自己資本比率は

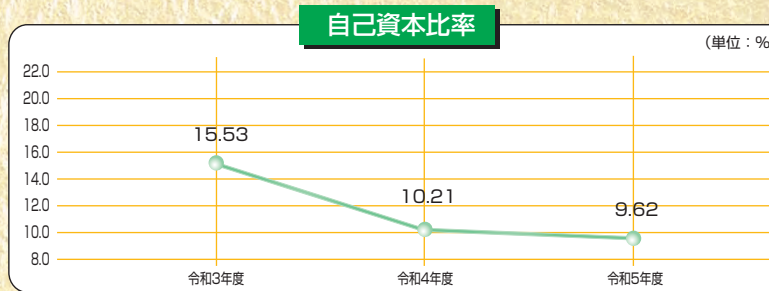
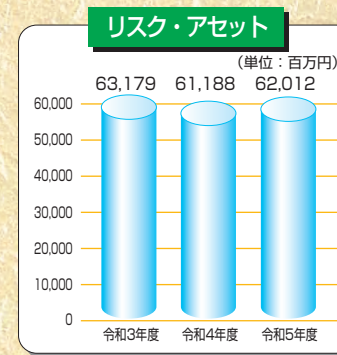
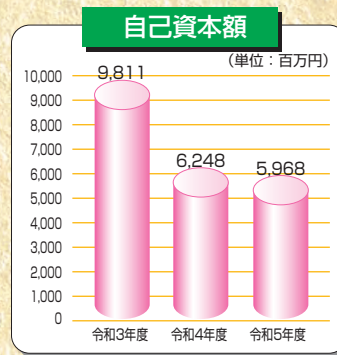
9.62%

です。

式で表わしますと

$$\frac{\text{自己資本額 } 59\text{億}68\text{百万円}}{\text{リスク・アセット } 620\text{億}12\text{百万円}} \times 100 = 9.62\% \text{ です。}$$

自己資本比率の推移



※令和4年8月に信金中央金庫に対して発行している優先出資40億円(旧秋田ふれあい信用金庫承継分)について、買入消却を実施しております。

自己資本比率の算出方法

自己資本比率は、自己資本額を分子とし、総資産を分母として算出いたします。分母となるリスク・アセットは、資産ごとの回収リスクに応じて算出することになっており、一般の貸出金は分母に全額入りますが、現金や国債などの回収リスクの少ない資産は分母に入れなくてもよいことになっております。

ちょっと一息
ワンポイント
アドバイス

あんしんなわけ

令和6年3月期のうごしんきんの自己資本比率は9.62%で、国際基準の8%を上回り、国内金融機関が健全性の基準とする4%の2倍以上の高い水準を維持しています。

自己資本の重要性

金融機関は、預金や自己資本を資金調達の源泉とし、貸出金や有価証券などの資産を保有・運用しております。預金などは将来必ず支払うべきものですが、運用している資産に貸倒れなどの損失が大量に発生しますと、お預かりしている預金の支払いができなくなる可能性があります。自己資本は、このような損失の発生に対する蓄えとしての役割を果たしてくれるもので、自己資本比率が高いことは、損失の発生の可能性がある資産に対して自己資本という蓄えを多く持っており、安全性が高いこととなります。



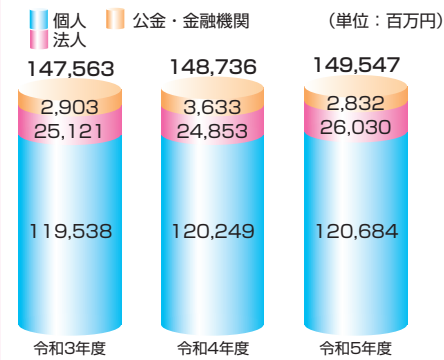


うごしんきんの業績は どうなってるの？

預金・貸出金の推移

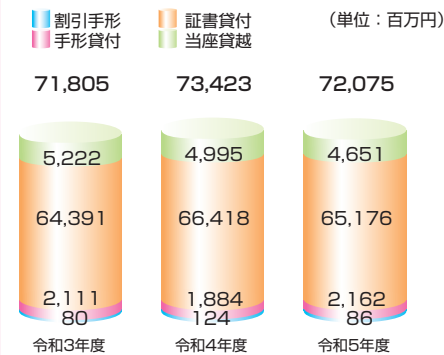
● 預 金

公金・金融機関預金が8億1百万円減少したものの、個人預金が4億35百万円増加したことに加え、法人預金が11億77百万円増加したことで、昨年度より8億11百万円増加（増加率は0.54%）し、預金残高は1,495億47百万円となりました。



● 貸出金

個人向け融資や再生可能エネルギー事業者への融資増強を図ったものの、通常償還のほか新型コロナウイルス関連融資の繰上償還等により、昨年度より13億48百万円減少（減少率は1.83%）し、貸出金残高は720億75百万円となりました。



収 益

貸倒引当金計上額が前年度に比べ減少したことに加え、支店の再編等を始めとする経費の削減に取り組んだものの、貸出金利息の減少等から業務純益2億89百万円、当期純利益は1億42百万円となりました。

(単位:百万円)

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	2,270	2,298	2,562
経常利益	81	368	268
業務純益	144	328	289
コア業務純益	355	410	327
当期純利益	73	366	142

うごしんきんの不良債権の 状況はどうなってるの？



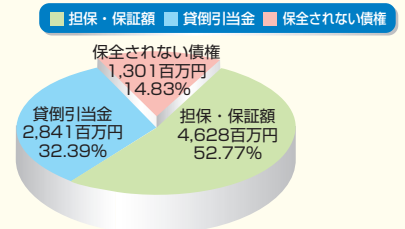
金融再生法に基づく資産査定状況

厳格な自己査定を行い、適正な貸倒引当金を計上しており備えは万全です。不良資産に対する割合（保全率）は、85.17%となっています。

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況 (令和6年3月末現在) (単位:百万円)

区 分	開示残高(a)	保全額(b)	担保・保証等による回収見込額(c)	貸倒引当金(d)	保全率(%) (b)/(a)	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和4年度	2,786	2,786	572	2,214	100.00
	令和5年度	2,602	2,602	484	2,118	100.00
危険債権	令和4年度	4,830	4,493	3,887	605	93.04
	令和5年度	4,899	4,561	4,016	544	93.10
要管理債権	令和4年度	1,850	670	181	489	36.25
	令和5年度	1,268	306	127	178	24.15
三月以上延滞債権	令和4年度	21	16	10	5	78.06
	令和5年度	25	18	14	3	73.39
貸出条件緩和債権	令和4年度	1,829	654	170	483	35.76
	令和5年度	1,243	287	113	174	23.15
小 計 (A)	令和4年度	9,467	7,950	4,641	3,309	83.98
	令和5年度	8,770	7,469	4,628	2,841	85.17
正常債権 (B)	令和4年度	64,340				
	令和5年度	64,571				
総 与 信 残 高 (A) + (B)	令和4年度	73,807				
	令和5年度	73,341				

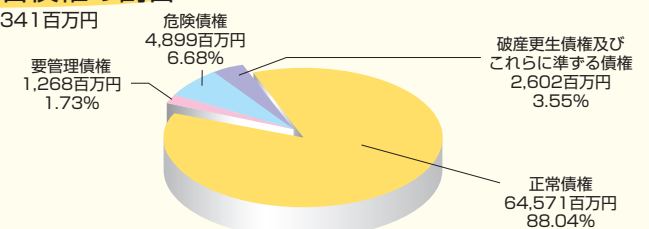
保全状況



1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3. 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
6. 「正常債権」(B)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
7. 「担保・保証等による回収見込額」(c)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
8. 「貸倒引当金」(d)には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
9. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行者が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見込の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は質貸借契約によるものに限る。)です。

総与信に占める各債権の割合

総与信残高73,341百万円





うごしんきん と地域社会との関わりは？

うごしんと地域社会 地域と共に、あなたと共に。

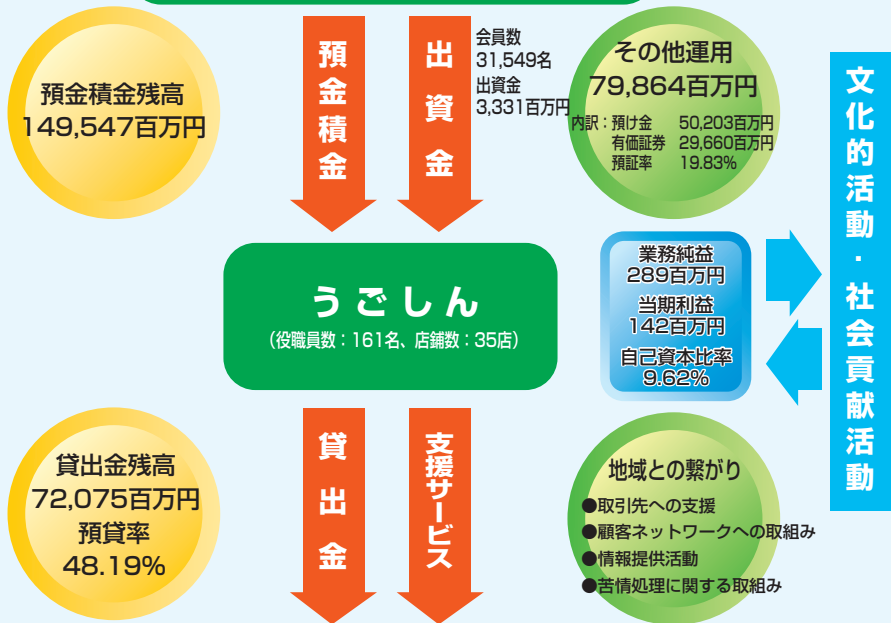
当金庫は、地元で事業を営んでいる方々や住民の皆様が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄をお手伝いするとともに、地域社会の一員として地元の中堅企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域社会の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

※計数は令和6年3月末現在

お客様 / 会員



お客様 (会員)



“ビックバンク” 信金中央金庫と信用金庫はどのような関係ですか？



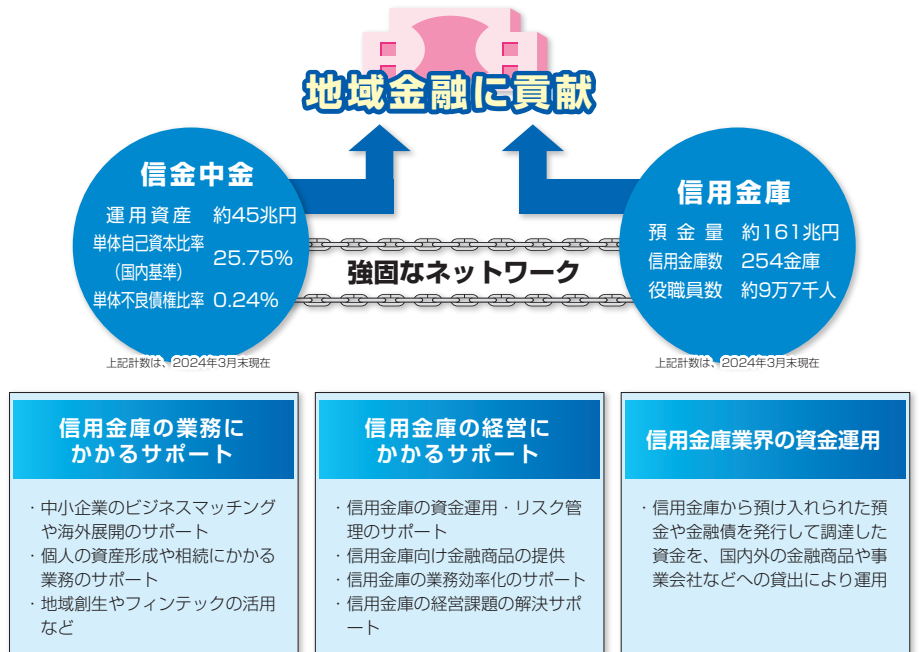
信金中央金庫 ~信用金庫のセントラルバンク~

Shinkin Central Bank

信金中央金庫（信金中金）は、信用金庫の出資によって設立された協同組織の金融機関であり、全国の信用金庫を会員とする「信用金庫のセントラルバンク」として1950年に設立されました。

信金中金は、信用金庫の業務や経営にかかるサポートのほか、信用金庫業界の資金運用機能などを有しております。

信金中金の2024年3月末現在の資金量は、信用金庫から預けられた資金と金融債を発行して調達した資金等を合わせて約3.4兆円にのぼっています。信金中金は、わが国固有の規模を有する金融機関であり、数少ない金融債発行機関でもあります。



信用金庫の業務にかかるサポート

- ・中小企業のビジネスマッチングや海外展開のサポート
- ・個人の資産形成や相続にかかる業務のサポート
- ・地域創生やフィンテックの活用など

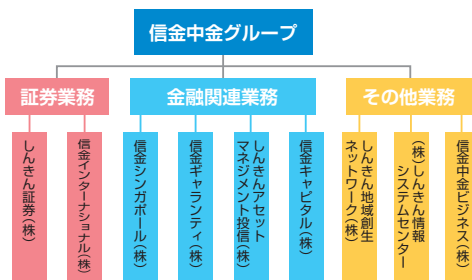
信用金庫の経営にかかるサポート

- ・信用金庫の資金運用・リスク管理のサポート
- ・信用金庫向け金融商品の提供
- ・信用金庫の業務効率化のサポート
- ・信用金庫の経営課題の解決サポート

信用金庫業界の資金運用

- ・信用金庫から預け入れられた預金や金融債を発行して調達した資金を、国内外の金融商品や事業会社などへの貸出により運用

総合力で地域金融をバックアップ



邦銀トップクラスの格付

格付機関	長期格付
ムーディーズ(Moody's)	A1
S&Pグローバル・レーティング(S&P)	A
格付投資情報センター(R&I)	A+
日本格付研究所(JCR)	AA

2024年3月末現在